

第26回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年12月

応募者名:福島県土木部

事業の名称:都市計画道路西小原北町線整備事業

実施都市名:福島県喜多方市

事業目的

都市計画道路西小原北町線は、蔵とラーメンのまち喜多方の中心部とJR喜多方駅を結ぶ重要な幹線道路であるが、慢性的な渋滞が生じているとともに歩道空間がほとんどなく観光客等の安全な通行が妨げられていました。

本事業は、沿道周辺の江戸時代から数多く現存している蔵等の歴史的建造物と調和した良好な沿道景観を持ち合わせた街路整備として地元住民と一体となった整備を目的としました。

事業概要

事業名称: 都市計画道路西小原北町線整備事業

路線名: (都)西小原北町線

事業箇所: 喜多方市字町田地内

事業延長: $L=374\text{m}$

幅員: $W=20\text{m}$

事業費: 約15億

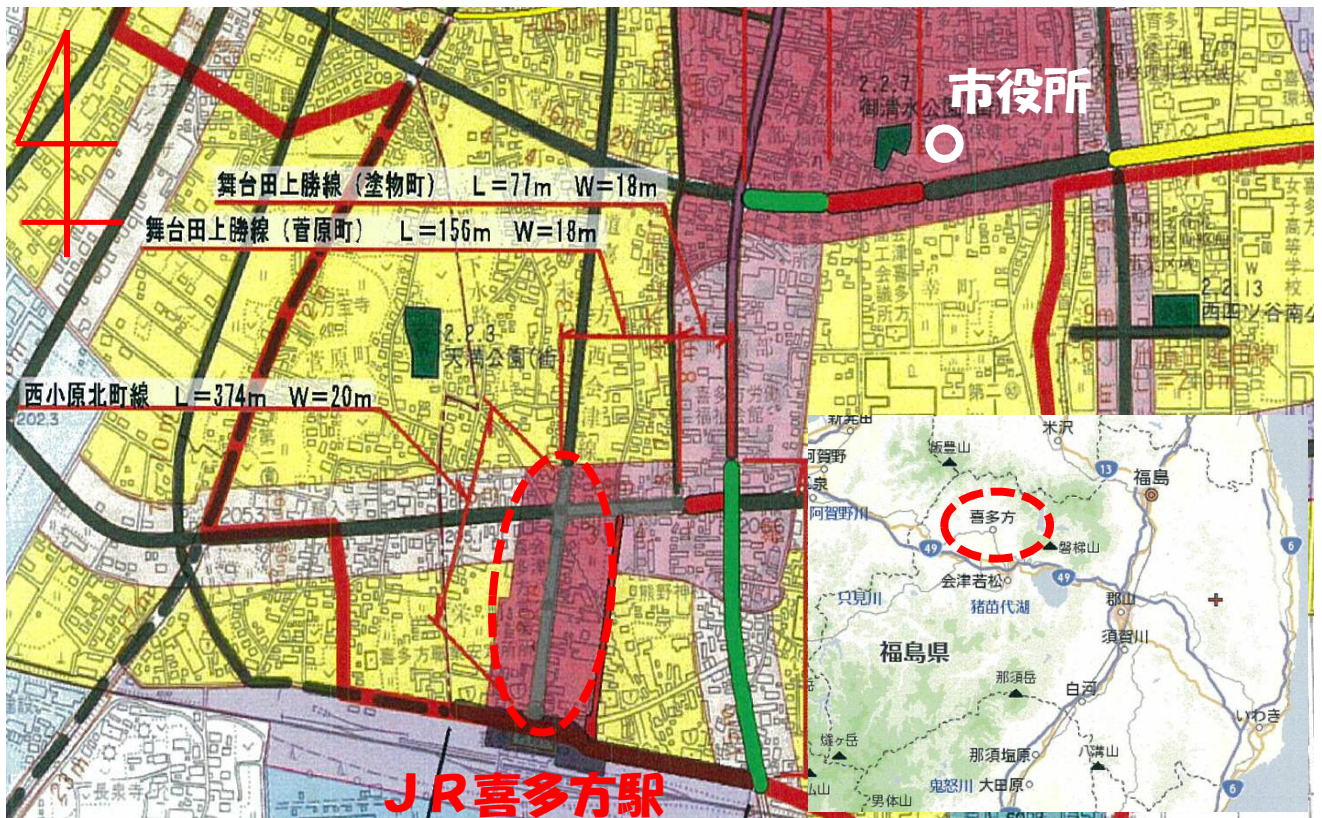
事業実施期間: 平成15年～平成24年

本事業は、「蔵とラーメンのまち」喜多方市のまちづくりの一環として、喜多方市の表玄関であるJR喜多方駅前道路の歩行空間の確保と沿道整備を行いました。

歩道は、両側に3m～4mの歩行空間を確保し、電線共同溝を整備することにより沿道の電柱を無くし、蔵のまちにふさわしい沿道景観に配慮した整備を行いました。

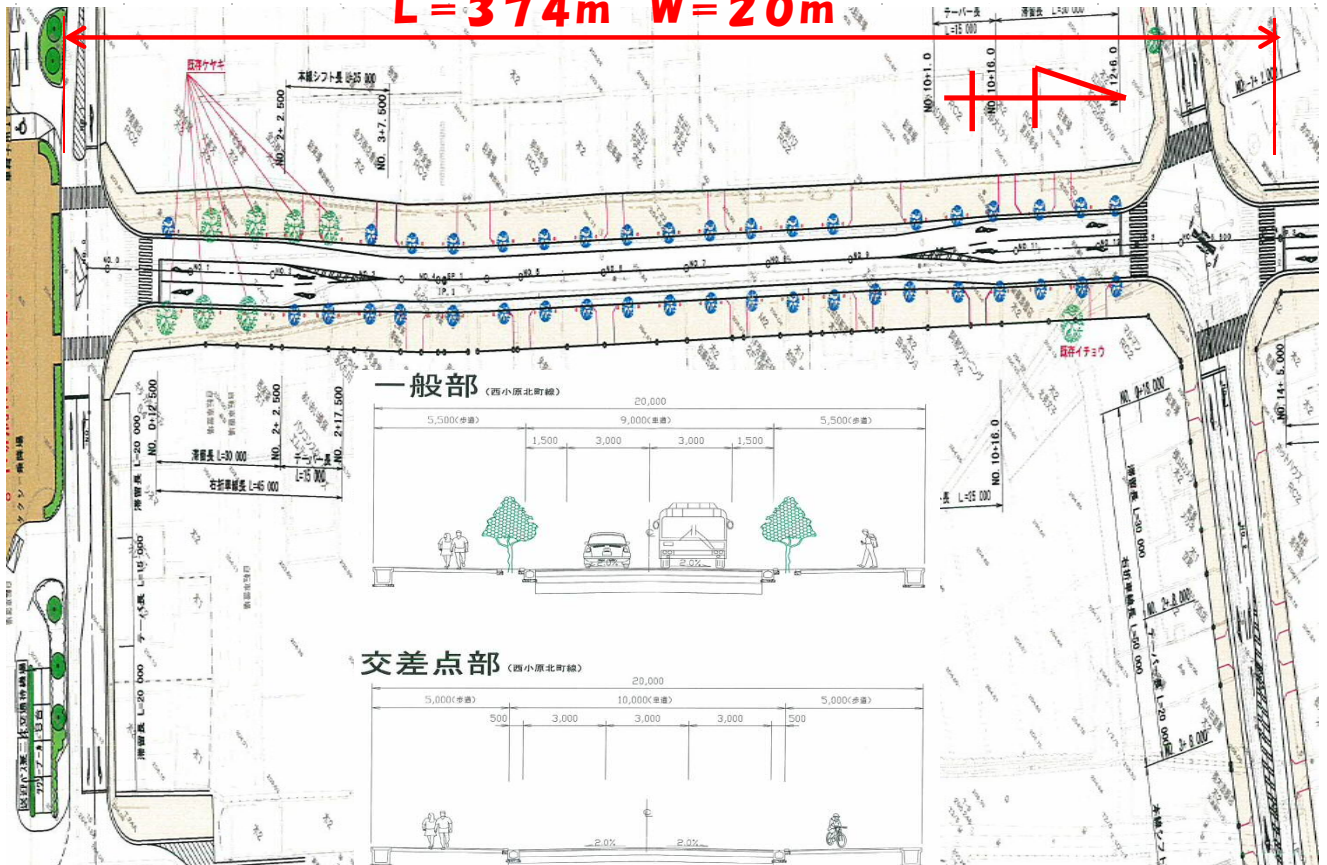
また、積雪地域でもある喜多方は、冬場には1mを超える積雪にもなることから、冬場も観光客等が安全にまちなかの通行を楽しめるよう歩車道共に無散水消雪を設置するなど、安全で快適な通行出が来るよう整備を行いました。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

L = 374m W = 20m



都市計画道路西小原北町線の整備効果アピール資料



○事業概要

事業名: 都市計画道路西小原北町線整備事業

路線名: (都)西小原北町線

事業箇所: 喜多方市字町田地内

事業延長: L=374m

幅員: W=20m

総事業費: 約15億円

事業期間: 平成15年～24年

「整備効果」

- ・歩道の配色を押さえたことで、「蔵のまち」の景観に溶け込む落ち着いた景観が創出できた。
- ・住民意見を取り入れ、一部既存街路樹を活用したことで良好な景観を形成できた。その他は低木を配置し、喜多方市の原風景である飯豊連峰が通りから見えるよう配慮した。
- ・無散水消雪の整備により、冬場も安全で快適に歩ける歩行空間の確保をすることができた。
- ・観光入込客数が震災の影響で199万人と落ち込んだが、官民一体となった回遊できるまちづくりの一環として喜多方市の表玄関である本箇所の整備を行った結果、翌年の観光客数が213万人に回復した。

「その他の事業効果」

- ・住民と協力して街路整備を行ったことで、住民のまちづくりや景観に対する意識が高まった。
- ・沿道住民による景観協定が締結され沿道のファサード整備も行われた。

事業前写真

平成19年6月撮影



走行車両、駐車車両により車道は混雑し、歩道も狭く車道へのはみ出し、乱横断があり危険な状態です。

平成19年6月撮影



電線が張り巡らされ景観を阻害しています。

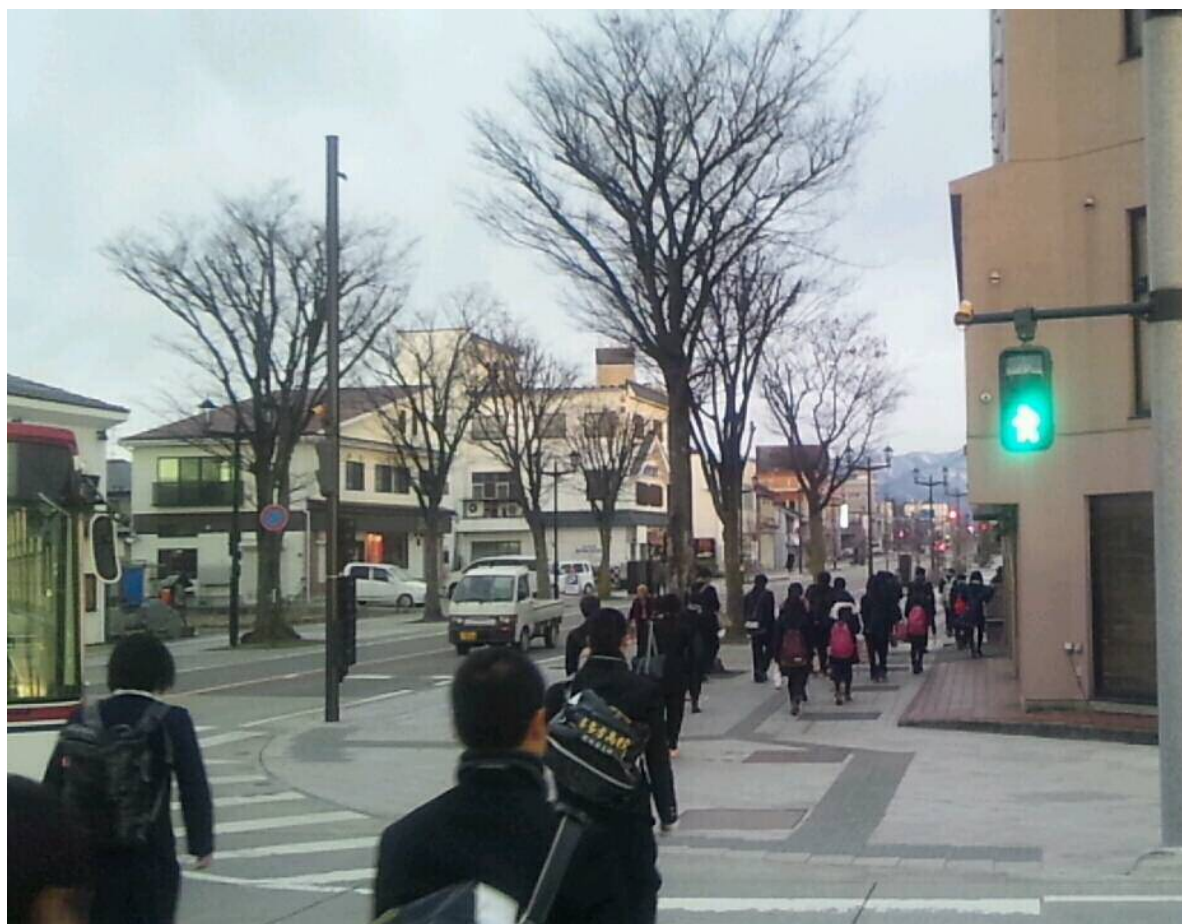
平成19年12月撮影



積雪により歩道は歩けず、除雪された車道上を歩行しています。

事業後写真

平成25年12月撮影



完成後は歩道空間が確保されたとともに、蔵等の歴史的建造物と調和した町並みの形成がなされ市の玄関口となりました

平成25年12月撮影



市民や観光客の憩いの場として、蔵の街と調和した「蔵庭」(ポケットパーク)を整備した。

平成25年1月撮影



無散水消雪歩道の整備により雪の日でも安心して歩行できます